NEC Express5800 シリーズ
Express5800/A1080a-S, A1080a-D, A1080a-E
Express5800/A1040a

3

ソフトウェア編

Express5800/A1080a-S,A1080a-D,A1080a-E,A1040a用に用意されているソフトウェアについて説明します。

「添付のメディアについて」(592ページ)

本装置に添付の「EXPRESSBUILDER」に収められているソフトウェアについて紹介します。

「EXPRESSBUILDER」(593ページ)

セットアップツール「EXPRESSBUILDER」について説明します。

「本装置のバンドルソフトウェア」(594ページ)

本装置にインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

「管理PC用バンドルソフトウェア」(602ページ)

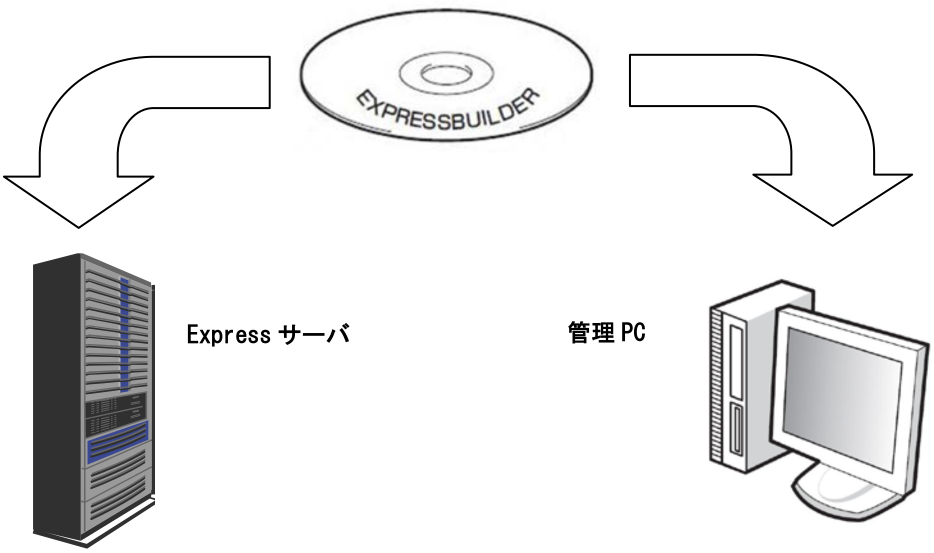
本体を監視・管理するための管理PCにインストールするバンドルソフトウェアについて説明します。

添付のメディアについて

添付の「EXPRESSBUILDER」には、本装置を容易にセットアップするための各種バンドルソフトウェア、ユーティリティ、オンラインドキュメント、ドライバが収録されています。
これらのソフトウェアを活用することにより、本装置の機能をより多く引き出すことができます。

重要

「EXPRESSBUILDER」は、本装置の設定が完了した後でも、OSの再インストールやBIOSのアップデートなどで使用される機会があります。また、装置障害時の保守作業においても使用されますので、なくさないように大切に保存しておいてください。



セットアップユーティリティ

EXPRESSBUILDER

RAID システム管理ユーティリティ

Universal RAID Utility

システム管理ユーティリティ

ESMPRO/ServerAgent Extension
ESMPRO/ServerAgent(Windows 版)
ESMPRO/ServerAgent(Linux版)

セットアップユーティリティ

EXPRESSBUILDER

システム管理ユーティリティ

ESMPRO/ServerManager(Windows版)
ESMPRO/ServerManager(Linux版)

その他

各種オンラインドキュメント
(HTML/PDF)

注：Universal RAID UtilityおよびESMPROのVMware対応版は含まれていません。

EXPRESSBUILDER

「EXPRESSBUILDER」は、次のような機能を提供しています。

1) セットアップ機能：本機にWindowsをインストールする機能です。RAID構築からアプリケーションのインストールまで簡単に実施できます。この機能を利用するには、ブート後のメニューで「OS Installation」を選択します。
2) バンドルソフトウェアの提供：ESMPRO/ServerAgentなど、本機のバンドルソフトウェアを格納しています。
3) ドキュメントの提供：本書を含む各種ドキュメントを格納しています。

本媒体を用いたWindowsインストールは、「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。

オートランで起動するメニュー

Windowsが動作しているコンピュータ上で添付のDVDをセットすると、オートラン機能により自動的にメニューが起動します。

ヒント

セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットしたDVDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

メニューからは、Windows上で動作する各種バンドルソフトウェアのインストールやオンラインドキュメントを参照することができます。

ヒント

オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていないときは、あらかじめAdobeシステム社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしておいてください。

メニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。

重要

CD/DVDをドライブから取り出す前に、メニューおよびメニューから起動したオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

本装置のバンドルソフトウェア

本装置にバンドルされているソフトウェアの紹介およびインストールの方法について簡単に説明します。詳細はオンラインドキュメントをご覧ください。

Windowsインストールに関するバンドルソフトウェアに関しては、「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。　以下、Linuxインストールに関するバンドルソフトウェアの補足説明を記載します。

ESMPRO/ServerAgent（Linux版）

ESMPRO/ServerAgent(Linux版)は本装置にインストールするサーバ監視用アプリケーションです。添付の「EXPRESSBUILDER」に格納しているオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent インストレーションガイド (Linux編)」を参照してインストールしてください。

ESMPRO/ServerAgent Extension

ESMPRO/ServerAgent Extensionは本装置にインストールするリモート管理用ソフトウェアです。
ESMPRO/ServerAgent Extensionの機能やインストール方法についての詳細は、添付のEXPRESSBUILDER に格納している「ESMPRO/ServerAgent Extensionインストレーションマニュアル」を参照してください。

ExpressUpdate Agent

装置のファームウェアやソフトウェアなどのバージョン管理や更新を行うことができます。
ESMPRO/ServerManagerによって、自動的にダウンロードした装置の更新パッケージを、システムを停止せずに簡単に適用できます。
ExpressUpdate Agentの機能やインストール方法についての詳細は、添付のEXPRESSBUILDER に格納している「ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル」を参照してください。

重要

ExpressUpdateに未対応のファームウェアまたはソフトウェアの更新パッケージが提供されることがあります。
これらの更新パッケージの適用に関しては、以下のページに掲載しています。
NECコーポレートサイト（http://www.nec.co.jp）
[サポート・ダウンロード]―[PCサーバ化]

Universal RAID Utility (Linux版)

Universal RAID Utilityは、以下のRAIDコントローラの管理、監視を行うアプリケーションです。

- NE3104-001 RAIDコントローラ(6Gbps/256MB)(内蔵)
- NE3108-212 RAIDコントローラ(6Gbps/512MB)(外付け)

Universal RAID Utilityのインストールおよび操作方法、機能については、添付のEXPRESSBUILDERに収録している「Universal RAID Utility ユーザーズガイド」を参照してください。

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを使用したセットアップ

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを直接使用してセットアップできます。
操作方法については、添付のEXPRESSBUILDERに収録している「Universal RAID Utility ユーザーズガイド」を参照してください。

- **Linuxの場合**

  Universal RAID Utilityのインストールイメージが存在するディレクトリで、セットアッププログラムを直接実行します。インストールイメージは、EXPRESSBUILDERの以下のディレクトリに収録しています。

  /lnx/pp/uraidutl

ESMPRO/ServerManager による管理

「ESMPRO/ServerManager Ver. 5.3以降」を使用すると、ESMPRO/ServerManagerでUniversal RAID Utilityが管理するRAIDシステムの参照や監視、オペレーションなどを実行できます。
ESMPRO/ServerManager動作環境については、「ESMPRO/ServerManager インストレーションガイド」を参照してください。

RAID レベル 6 の論理ドライブの作成

ハードディスクドライブ3台でRAID6(データx1+パリティx2)の論理ドライブを作成するには、WebBIOSを使用してください。
Universal RAID Utilityでは作成できません。

エクスプレス通報サービス(Linux 版)

エクスプレス通報サービスに登録することにより、システムに発生する障害情報(予防保守情報含む)を電子メールで保守センターに自動通報することができます。
本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知したり、障害発生時に迅速に保守を行ったりすることができます。

エクスプレス通報サービスのセットアップ環境

エクスプレス通報サービスをセットアップするためには、以下の環境が必要です。

ハードウェア

- 監視対象サーバ

  メモリ：20MB以上*
  空きディスク容量：70MB以上*
  * エクスプレス通報サービス単体では、インストールできません。そのため、ESMPRO/ServerAgentのインストールが必要です。

- メールサーバ

  電子メール経由の通報を使用する場合、SMTPをサポートしているメールサーバが必要です。

ソフトウェア

- 添付のESMPRO/ServerAgent(Linux版)
- 上記、ESMPRO/ServerAgent(Linux版) がサポートする Linux OS
- マネージャ経由の通報を使用する場合は、マネージャ側に以下の環境が必要です。ESMPRO/ServerManager※ + ESMPRO/AlertManager Ver.3.9以降

  * 監視対象となるサーバにインストールされているESMPRO/ServerAgentのバージョン以上を使用してください。
  (例) 監視対象となるサーバにインストールされているESMPRO/ServerAgentのバージョンが3.9 の場合、バージョンが3.9 以降のESMPRO/ServerManagerが必要です。

セットアップに必要な契約

セットアップに必要な契約、エクスプレス通報サービス(Linux版)のセットアップについては、本製品に添付の「EXPRESSBUILDER」内のドキュメント「エクスプレス通報サービス セットアップガイド (Linux/VMware編)」を参照してください。

装置情報収集ユーティリティ(Linux 版)

装置情報収集ユーティリティは、保守の場合または不具合のときなどにサーバの各種情報を採取することができます。

インストール
本ユーティリティのインストール手順を説明します。
1. OSが起動した後、「EXPRESSBUILDER」DVD を光ディスクドライブに挿入してください。
2. EXPRESSBUILDER の以下のディレクトリに収録されている本ユーティリティのインストールイメージ(ezclct.tar.gz)とインストーラ(ezclct_inst.sh)をインストールしたい任意のディレクトリにコピーしてください。

[収録ディレクトリ]
/BBB/lnx/pp/ezclct
BBBの部分は、EXPRESSBUILDERの媒体番号 6.AA-BBB.CC の
BBBと同じ値です。
例) 媒体番号 6.80-001.03の場合:/001/lnx/pp/ezclct

3. コンソールからインストーラのシェルを実行することで、インストールを開始します。以降はインストーラのメッセージに従ってインストール作業を完了してください。

本ユーティリティを新規でインストールする場合は、カレントディレクトリ配下にezclctディレクトリを作成し、インストールします。更新インストールの場合は、既存のインストールディレクトリにインストールします。

```
# cd /hoge
# ls
ezclct_inst.sh  ezclct.tar.gz
# ./ezclct_inst.sh
# ls
ezclct  ezclct_inst.sh  ezclct.tar.gz
 ↑このディレクトリ配下にインストールされる
```

重要

root の権限を持ったユーザでシステムにログインしてください。
インストール先ディレクトリの空き容量が「3.5GB」以上必要です。

使用方法

本ユーティリティのインストールディレクトリ配下の/stdclct/collectsa.shを実行してください。
stdclctディレクトリ配下に本装置の各種情報が圧縮ファイル(collectsa.tgz)で格納されます。

```
# cd /hoge/ezclct/stdclct
# ls
collectsa.sh
# ./collectsa.sh
# ls
collectsa.sh  collectsa.tgz
              ↑採取情報圧縮ファイル
```

アンインストール

本ユーティリティのインストールディレクトリ配下の ez_uninst.shを実行してください。
インストール時にインストーラが作成したezclctディレクトリごと削除します。

```
# cd /hoge
# ls
ezclct
# ezclct/ez_uninst.sh
# ls
#
  ↑ezclct ディレクトリごと削除される
```

管理PC用バンドルソフトウェア

本装置をネットワークから管理するための「管理PC」を構築するために必要なバンドルソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerAgentがインストールされたコンピュータをネットワーク上の管理PCから監視・管理するには、本体にバンドルされているESMPRO/ServerManager をお使いください。管理PCへのインストール方法や設定の詳細についてはオンラインドキュメント、またはESMPROのオンラインヘルプをご覧ください。

チェック

ESMPRO/ServerManager の使用にあたっての注意事項や補足説明がオンラインドキュメントで説明されています。添付の「EXPRESSBUILDER」内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストレーションガイド」を参照してください。

エクスプレス通報サービス(MG)

エクスプレス通報サービス(MG)は、本機が故障したときの情報(または予防保守情報)を電子メール、モデム経由で保守センターに通報して、故障を事前に防いだり、迅速に保守したりすることができます。本サービスを使用するには、事前のご契約とESMPRO/ServerManagerのインストールが必要です。
エクスプレス通報サービスは通常、ESMPRO/ServerAgentと連携して動作するため、本サービスを使用するためにはESMPRO/ServerAgentが必要になります。
しかし、ESMPRO/ServerAgentを導入できない機種の場合は、エクスプレス通報サービス(MG)を、ESMPRO/ServerManager側にインストールします。

エクスプレス通報サービス(MG)をインストールするときは、本製品に添付の「EXPRESSBUILDER」内のドキュメント「エクスプレス通報サービス(MG)インストレーションガイド」を参照し、インストールしてください。

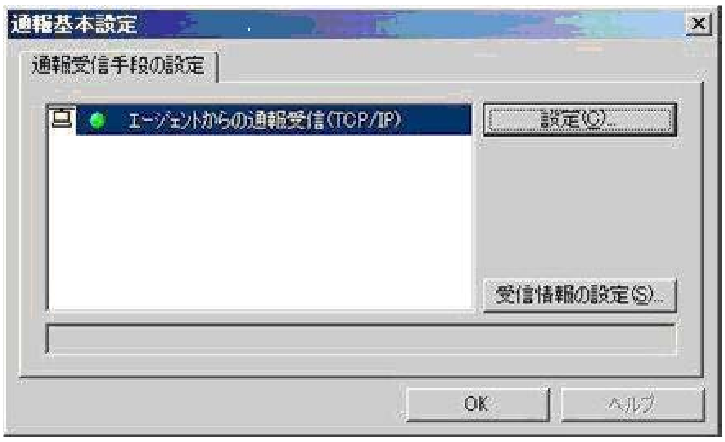
エクスプレス通報サービス(MG)をインストール後、受信情報の設定を行ってください。

受信情報の設定

受信情報は以下の設定を行ってください。

・[受信情報の設定]ツールの起動
　[受信情報の設定]ツールは以下の手順で起動します。

1 アラートビューアを起動します。
2 [ツール]-[通報の設定]から[設定]- [通報基本設定]をクリックします。
　[通報受信手段の設定]ウィンドウ表示されます。



ESMPRO/ServerAgent、または WebSAM AlertManager がインストールされている環境では、[通報受信手段の設定]ウィンドウではなく、アラートマネージャツールが起動します。
その場合は、アラートマネージャの[設定]-[通報基本設定]を選択して
[通報受信手段の設定]ウィンドウを表示させてください。

３ [受信情報の設定]をクリックして受信情報の設定ツールを起動します。

・受信情報の格納場所の設定

１ [受信情報の格納場所]に直接格納場所を入力するか、
　または[受信情報の設定]画面の[参照]をクリックします。
　[参照]をクリックすると以下に示す[フォルダの参照]ウィンドウを表示します。

2 受信情報のある場所を指定して[OK]をクリックします。
以下のウィンドウのように[受信情報の格納場所]に指定した場所が表示されます。

• 受信情報の読み込み
[読み込み]をクリックすることにより、[受信情報の格納場所]から受信情報が読み込まれます。
読み込まれた情報は、[受信情報の読み込み状況」ウィンドウに表示されます。
登録可能な情報が[受信情報の格納場所]にない場合は何も表示されません。

・登録操作
[受信情報の読み込み状況]の項目を確認し、登録が必要なものを選択し、
[登録]をクリックすることで登録が行えます。
登録が完了すると、ウィンドウは以下のようになります。

・削除操作
[受信情報の登録状況]に表示している項目を選択して、
[削除]をクリックことにより登録の削除が行えます。
・終了
[閉じる]をクリックすると[受信情報の設定]ツールは終了します。

～Memo～